

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G | O】

健康の概念、健康の現状、健康増進医学、健康づくり施策、健康管理方法の基礎知識を学ぶ。

【行動目標：S B O】

1. 健康の概念を説明できる。
2. 基本的な健康度の指標、保健統計の定義を理解し、健康事象の分析ができる。
3. 健康阻害要因を説明できる。
4. 健康増進における栄養・運動・休養・禁煙・適量飲酒の基本を説明できる。
5. 日本人の健康の現状を知り、問題点を探ることができる。
6. 日本及び諸外国の健康づくり施策を説明できる。
7. 健康管理の基本的な方法を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	健康の定義	1.	講義
2	個人の健康度の指標、やせ・肥満の判定法	2.	講義
3	集団の健康度の指標（平均寿命、死亡率、PMI、罹患率、有病率、受療率等）	2.	講義
4	健康と生活（喫煙）要因との関係	3.4	講義, VTR
5	健康と生活（飲酒）要因との関係	3.4	講義, VTR
6	健康阻害要因、健康と生活（食事）要因との関係	3.4	講義
7	健康と生活（運動、休養）要因との関係	3.4	講義
8	日本人の健康の現状及び生活状況：現状を調べ健康及び生活の問題点を探る	5.	演習
9	海外及び日本の健康施策の流れ、理念	6.	講義
10	国、都道府県、市町村の衛生行政機構、健康増進施設の概要	6.	講義
11	地域、学校、職域の健康管理施策	6.	講義
12	スクリーニング検査の概念と評価方法	7.	講義
13	健康管理の方法、健康教育、健康相談	7.	講義
14	まとめ	7.	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	イラスト健康管理概論	朝山正巳	東京数学社	2005年 ¥2,000+税
参考書	国民衛生の動向		厚生統計協会	最新版
	国民栄養の現状	健康・栄養情報研究会	第一出版	最新版
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】 出席状況、授業中の態度、小テスト、課題発表、定期試験から総合的に評価する。	【履修上の留意点】
---	-----------